

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立北川副小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほかほか活動」や「あのねタイム」が児童の学習意欲や友人との関係が良好になっているので、継続していきたい。 ・4部会を中心に組織的に取り組み、おおむね達成目標には到達したが、体力づくりが、毎年低く、達成に難しいことから別の成果指標に変更していく。 ・ユニバーサルデザイン教育については、形骸化してきているので、再考する必要がある。 ・次年度は、教員一人一人の授業力等を向上させる取組をさらに充実させることで、児童の学習意欲を高めていきたい。
2 学校教育目標	人を大切に子、自立した子を育てる チーム北川副

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆思いやりや感謝の気持ちを表し、伝える力の育成 ◆あいさつの励行 ◆「主体的・対話的で深い学び」の実践・授業改善 ◆基礎学力の定着 ◆児童がアイデアや工夫を発揮できる場の工夫 ◆目標や達成感を意識し、自己の成長を振り返る場の工夫
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による教科等指導力の向上に係る研修会の実施	○「授業を通して、『できた』『わかった』と感じる」と回答する児童90%以上	・授業のUD(視覚化・焦点化・共有化)を促進し、わかる授業づくりをする。							研究主任 学び部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達に、ほかほか言葉をよく使っている」と回答する児童90%以上 ○「自分のよさがわかる」と回答する児童85%以上。	・特別の教科道徳・特別支援教育に関する校内研修等の実施。 ・毎月の人権教室(集会)を実施する。 ・友達のよさががんばりを「ほかほかカード」に記入し、校内に掲示をし、紹介する。							心豊か部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「友達と楽しく学校生活を送っている」と回答する児童90%以上	・いじめの早期発見のために、毎月、児童へのいじめアンケートを行う。 ・いじめを発見した場合は、担任一人に任せず、管理職も含むチームで対応する。 ・「人が嫌がることをしない」「人が嬉しくなることをする」といった内容の指導を徹底して行う。また、適宜放送等で全体への指導を行う。							心豊か部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒85%以上	・教師と児童が一对一で話し合う「あのねタイム」を実施する。 ・学校応援団の方をゲストティーチャーに招いた活動を展開し、地域の人々のくらしや伝統、文化、職業等についての理解を深める活動を行う。 ・行事や学期ごとの目標設定や振り返りの充実(キャリアパスポートの活用)を図る。							
	○相手や場面に応じた挨拶ができるよう教育活動	○相手や場面に合わせたあいさつをしている児童90%	・学期始めに「あいさつ」に関する生活目標を提示し、あいさつすることの意味を考えさせ、実行させる。 ・あいさつをしたことが自己評価できるように数値目標(何人にあいさつができたなど)を設定させる。							暮らし部
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・年度始めに交通安全教室を開催し、児童に注意喚起を行う。 ・地域と連携し、「こどもの安全・防災マップ」を児童に周知徹底し安全に関する能力を高める。							健やか部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・時間外在校時間の上限を遵守するために、個々で日々の退勤時刻を設定する。 ・長期休業中の行事を精選し年休を取得しやすくするために、長期休業中の行事を精選する。							教頭
●特別支援教育の充実	○学習しやすい環境づくり	○学校のUDや合理的配慮について意識して取り組むことができた」と回答する教員90%以上 ○「学習に集中しやすい環境・学級である」と回答する児童・保護者90%以上	・特別支援教育の視点を取り入れた「学習環境のユニバーサルデザイン」「授業のユニバーサルデザイン」「人的環境のユニバーサルデザイン」を図る。 ・学校運営協議会やPTAと連携し、UDへの理解を深める。							特別支援教育コーディネーター 学び部

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○「自ら進んで学ぶ児童」の推進	○児童自ら進んで学習活動に取り組む授業の実践	○「授業を通して『自分から進んで学習ができた』と感じる」と回答する児童85%以上 ○校内研修を通して自身の長所や課題を自覚し、改善に生かすことができる教師90%以上	・児童の意欲を高めるような授業づくりをする。 ・既習の学習内容から本時の課題をもてるようにする。							研究主任 学び部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--